

以上のとおりであります。この選挙の法定得票数は8票であります。よって、佐藤平一郎君が議長に当選されました。

ただいま議長に当選されました佐藤平一郎君が議場におられますので、本席から会議規則第32条第2項の規定による告知をいたします。ご承諾を願います。

〔23番佐藤平一郎君登壇〕〔拍手〕

◎23番（佐藤平一郎君）

今回、皆様のあたたかいご支援によりまして、再び議長の要職に着かせていただきましたことを心から感謝申し上げます。柏崎議会もいよいよ重大時期を迎え、70年安保に対しても、あるいは原子力開発、平和利用、あるいは自衛隊の誘致等によりまして、やがては夢開く里になるのではないかと私は存じております。この際におきまして、ご列席の理事者各位と唇齒輔車の関係を結びまして、ますます市勢の伸展をはかり、かつ議会議員の皆様方のご協力をいただきまして、正当なる運営につとめたいと存じております。

昭和35～6年は、日本は高度経済成長によりまして、飛躍的に工業力、生産力は伸び、いよいよ世界第2位にまでなりました。しかし、その反面、裏日本においては過疎現象が起き、まことにわれわれの市政に対して頭の痛むところが多いのでございます。しかし、45年から始まる10年、あるいは15年においては、おそらく原子力の平和利用をはじめとし、いろいろの意味において、柏崎は飛躍的な、われわれの想像もつかないような新しい産業が誘致されるであろう。こういうことを考えますと、理事者も議会もともどもに一致協力して、この躍進の時期を迎えなければならないと存じております。

私、最近、病を得まして、皆さんにご奉公が十分できないことを残念に思っておりますが、しかし、自分のできるだけのことはいたしまして、皆さんとともに柏崎市政に尽くしたいと考えております。ありがとうございました。（拍手）

◎副議長（葉賀清治君）

佐藤平一郎君、議長席にお着き願います。

〔副議長退席、議長着席〕